

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成 30 年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)  
年間 (4月～3月)

施設名	秋川ファーマーズセンター	指定管理者	秋川農業協同組合
指定期間	平成31年4月1日から 令和6年3月31日まで	担当課	農林課

## 1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	359	359	100%	
	延べ利用者数 (レジ客数・人)	—	284,595	—%	
	事業開催 回数	必須事業 (回)	—	—	—%
		自主事業 (回)	—	—	—%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	—	—	—%
		直売所売上 (円)	300,000,000	273,924,819	91.3%
		その他の売上 (円)	194,100,000	159,157,239	82.0%
		その他の収入 (円)	3,800,000	4,263,138	112.2%
	収入計 (円)		497,900,000	437,345,196	87.8%
	支出	事業直接経費 (円)	447,872,000	395,506,125	88.3%
		管理経費 (円)	48,728,000	48,648,538	99.8%
		自主事業関係経費 (円)	—	—	—%
		その他の支出 (円)	100,000	17,778	17.8%
	支出計 (円)		496,700,000	444,172,441	89.4%
収支 (収入－支出) (円)		1,200,000	△6,827,245		

### 指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<b>【開館日数・利用者数について】</b> 平成30年4月1日～平成31年3月31日 開館日数 359日 レジ客 284,595人 (前年比 △18,933人)	<b>【事業の実施状況について】</b> 「とうもろこし祭り・収穫祭」等のイベントを実施した。 また、地域の小学校の社会科見学、中学校・高等学校の職場体験の受入れを行った。	<b>【収支状況について】</b> 異常気象の影響を受け、作付け・収穫の減少に加え、来客数が(前年比 18,933人減)大幅に減少したことにより、計画には達しなかった。
---	--	---

### 所管課の評価 (指摘事項)

<b>【開館日数・利用者数について】</b> 開館日については、計画どおり営業している。一方、利用者数は異常気象により前年と比較すると大きく減少している。	<b>【事業の実施状況について】</b> 計画どおり実施しており特に問題はない。	<b>【収支状況について】</b> 予定の収入に達していないが、この原因は、異常気象によるものと考えられる。一方、仕入れ品で売り上げ向上を図った。
--	---	--

## 2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)	確認資料等	指定管理者の 自己評価	所管課の評価	
施設・設備の 維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	実地	適正・要改善	適正・要改善

施設・設備の維持管理	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	生産履歴の整備	生産履歴	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル（JA本部）	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書、実地	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の小学校（5校）の社会科見学、中学校（4校）及び高等学校（1校）の職場体験の受入れなど社会教育に貢献した。また、学校給食へ地元農産物を使用したことにより食育等に繋がった。</li> <li>・売上げが大きく減少した原因は、異常気象によるものと考えられる。また、品薄状況が続いたときなど、産地の協力を得て仕入れ品で対応する必要がある。</li> <li>・施設全体の老朽化により、修繕箇所が増加している。</li> </ul>
所管課による所見（指摘事項など）
<p>「あきる野農業の拠点施設」として、適切な管理・運営が行われている。一方、栽培体系は露地栽培が主流のため、その年の天候により収穫量や品質が左右される中、秋川農業協同組合と農業者が連携を深め生産拡大に努力をしている。</p> <p>しかしながら、近年は売上げと来客数が減少していることから、消費者ニーズと季節にマッチした各種のイベント、ポイントカードの利点向上について検討・立案を行うなど収益の増加を期待する。</p>